

# あじさい通信

社会福祉法人京都悠仁福祉会

加茂の里

〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東四丁目1番地の3

第199号

## 令和4年度加茂の里事業計画

当施設では、開設以来「人権の尊重」「自立支援」「利用者本位」というテーマのもと、思いやりの心を持ち、手のぬくもりのある介護に取り組んでいる。利用者や家族の思いを大切に、法令遵守を徹底し、行政、保健、医療、福祉サービスとの連携に努めている。介護サービスの総合事業所としての特性と役割、責任を自覚し、感染予防に努め、地域の信頼を得るとともに、継ぎ目のないサービスを心掛け、安心、安全に利用できる施設を目指す。

### 【特別養護老人ホーム】

#### □ 基本方針

個別ケアの実践、の活用、感染予防対策の徹底、危機管理意識の向上を図ることで、質の高い専門的サービスを提供する。また、利用者、家族、地域の潜在的課題やニーズから、サービスを設計し、事業展開することで、地域に根差した介護施設としての信頼を得る。

#### □ 重点項目

##### 1. 人材育成

施設内外の研修やプリセプターシップ等、ステップアップシートを活用することで課題を明確にした職員教育訓練を継続的に実施し、専門性を発揮できる人材を育てると共に、次世代を担うリーダーの育成を行う。

##### 2. 危機管理意識の向上

ほっと報告書やコールバック連絡書の分析から有効的な対策の立案、事故に関するカンファレンスを毎月実施し、職種間で情報の共有に努めることで事故を未然に防止し、重大事故の発生を抑制する。感染、防災対策を強化し、マニュアルの見直しや訓練を定期的に行い、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築する。

##### 3. 連携強化

家族交流会（年1回以上）、食事行事（年3回以上）の開催を行うなど、家族や地域との関わりを積極的に持つことで連携強化に努める。

協力医療機関との連携を強化し、質の高いサービスを提供する。地域住民や関係機関と連携しての防災訓練を企画・実施する。

##### 4. 健全（法令遵守）で安定した事業活動の展開

コンプライアンスを徹底する。コスト意識を持ち、経費削減に努める。

##### 5. 働きやすい職場作り

ICTの活用や業務改善を行い、生産性の向上と業務の効率化を図る。業務分担を行いながら、個々の負担を軽減し、超過勤務時間を削減することで、有給休暇や連続休暇を取得しやすい職場環境を作る。

### 【短期入所生活介護】

#### □ 基本方針

個別ケアの実践、ICTの活用、感染予防対策の徹底、危機管理意識の向上を図ることで、質の高い専門的サービスを提供する。また、居宅支援事業所や居宅介護事業所との関係を強化し、利用者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう努める。

#### □ 重点項目

##### 1. 人材育成

ステップアップシートを有効的に活用することで、個々の課題を明確にしスキルアップを図る。また、プリセプターシップ等による職員教育訓練を継続的に実施し、施設内外の研修に参加することで、専門性を発揮できる人材を育てると共に次世代を担うリーダーの育成を行い、働きがいのある職場作りに取り組む。

##### 2. 楽しみの充実

食事に関する行事や日々のレクリエーションを充実させることで、楽しんで利用してもらえる環境を整える。

##### 3. 危機管理意識の向上

ほっと報告書やコールバック連絡書の分析から有効的な対策の立案、事故に関するカンファレンスを毎月実施し、職種間で情報の共有に努めることで事故を未然に防止し、重大事故の発生を抑制する。

##### 4. 連携強化

ショートステイというサービスの枠を越え、居宅支援事業所、居宅介護事業所、医療機関などとの連携強化に取り組み、利用者や家族の個別のニーズに応じたきめ細かいサービスを提供する。

##### 5. 健全（法令遵守）で安定した事業活動の展開

コンプライアンスを徹底する。コスト意識を持ち、経費削減に努める。

### 【通所介護】

#### □ 基本方針

利用者が住みなれた地域で生きがいや楽しみを持ち、在宅生活が継続できるよう生活意欲の維持及び増進を図る。個々の尊厳を重視し利用者の思いに寄り添い思いやりの心を大切にしてきめ細やかなサービスを提供する。感染予防対策をはじめ、安全安心に過ごせる場を提供する。

#### □ 重点項目

##### 1. アセスメントの強化

利用者満足度調査をもとに、日々の関わりや傾聴の中から情報を収集し分析を行い、さらなる改善を実践し満足度向上に繋げる。

##### 2. 機能訓練の充実

利用者の心身の状態に応じて身体機能及び生活機能の向上を目的とする機能訓練項目を柔軟に設定し、利用者の生活意欲が増進されるよう利用者を援助する。

##### 3. 人材育成

個々の力量の底上げ・チームとしての専門性を高めると共に、次世代を担うリーダーの育成を行い、サービスの質を向上させる。

##### 4. 職場の満足度向上

お互いに良好なコミュニケーションを図ることができ、チームの一員として楽しく従事できる環境をつくる。全ての職種が協力し、超過勤務を削減させることで、有給休暇が取得できる体制を維持し、心身の健康を保つ。

### 【訪問介護事業】

#### □ 基本方針

利用者の意思を尊重し、家族との連携を図りながら住み慣れた自宅で安心して生きがいを持ち、在宅生活を継続する事が出来るよう生活上の目的を持ち、生活機能の維持向上を図りながら一連の動作を一緒に行う。また、感染予防対策の継続と防災意識の向上を図れるよう職員教育を充実させる。さらに利用者満足度の向上に努め、各関係機関との連携を密に行いながら、地域に根ざした事業所を目指す。

#### □ 重点項目

##### 1. 利用者満足度の向上

利用者や家族のニーズを把握し、サービスの改善に繋げ、信頼関係の構築に努める。

##### 2. 各機関との連携の強化

居宅介護支援事業所、地域包括支援センター及び各機関との連携強化に努める。

##### 3. 職員教育

研修や勉強会の参加により効率的かつ効果的に幅広い知識の習得とスキルアップを図る。個別研修にも認知症の対応内容を多く取り入れ支援に繋げる。併せて、感染対策及び防災についても職員の資質の向上に努める。

##### 4. 働きやすい職場作り

業務分担を行うことで職員個々の負担を軽減させる。誕生月にバースデー休暇の取得することで、職員のリフレッシュと意欲向上に繋げる。

### 【訪問看護事業】

#### □ 基本方針

利用者が可能な限り、その居宅で能力に応じた自立した日常生活が送れる様に配慮し、サービスを提供する。また、利用者、家族の意思決定支援（ACP）に取り組み、地域の医療機関、主治医、各事業所との連携を図り、最期まで自分らしく在宅で過ごすことができるよう在宅療養に必要なサービス提供ができるよう支援する。また感染症や災害に備え、発生時にも安心してサービスが受けられるよう連携を密にし支援する。

#### □ 重点項目

- 顧客満足度の向上  
満足度アンケート調査を行い顧客ニーズの把握に努め、サービスの質の向上に繋げる。
- 人財育成及び定着  
看護体制強化加算の算定に向けて医療的ケアやターミナルケアの知識・技術の習得とスキルアップを図る。  
働きやすい職場づくりとして業務の効率化、改善を行い超過勤務の削減及び適切に休暇が取得できる体制を維持していく。
- 看護・リハビリの質の向上とケアの充実  
カンファレンスを定期的に行い、看護・リハビリケアの質の向上とケアの充実を図る。
- 危機管理意識の向上  
訪問ルートで危険性のある場所を把握し対策を検討することにより交通事故を防ぐ。  
ほっと報告やコールバック連絡書の再発防止対策を徹底し、事故発生防止に努める。  
感染症や災害が発生した場合に、BCPに基づいた対応ができる体制を構築する。

### 【居宅介護支援】

#### □ 基本方針

利用者が、住み慣れた地域で自立した日常生活が送れるように、地域包括ケアシステムの要である医療、介護、予防、住まい、生活支援が地域で包括的に確保されるように、木津川市及び相楽地域の関係各機関との継続的かつ機能的な連携関係を構築する。

また、地域の他の居宅介護支援事業所や障害福祉サービスとも交流、協力関係を築き、地域全体でケアマネジメント力の向上を図り、地域共生社会実現に向け、より地域の実情、特性に応じた支援と地域福祉の充実を図る。

#### □ 重点項目

- 地域との連携による福祉の実践  
地域包括支援センターや関係各機関との連携により、利用者や家族の意向、環境の変化等へ適切に対応し、24時間連絡体制の確保等、継続的かつ計画的な支援を実践する。  
また、行政、医療機関、サービス事業所等との連携を密に図り、繋がりを重視した支援を行う。  
地域の居宅介護支援事業所とも交流、協力関係を築き、地域でのケアマネジメント力の向上を図る。
- 満足度の向上及び職員の資質向上  
地域包括システムの推進のため、必要なサービスが切れ目なく提供されるように取り組みを行うために、研修会等へ積極的に参加し、介護支援専門員一人ひとりの資質の向上に努める。
- 働きやすい職場づくり  
有給休暇取得や職員の定期面接、ICTの活用により、業務改善を図ること、超過勤務の軽減を行い、離職率の少ない、働きやすい職場作りを図る。
- 危機管理の強化  
新型コロナウイルス感染症をはじめ、感染症対策について研修や勉強会を通して知識を深める。また、感染症や災害発生時においてもケアマネジメント業務が維持、継続できるように、BCP（事業継続計画）の継続的な見直しを行い、有事の際に必要な支援を提供できるよう備える。

### 【ケアハウスあじさい】

#### □ 基本方針

入居者が住み慣れた地域で生きがいを持ち、安心して暮らし続けるために、個人の人格・尊厳を尊重し、健康で元気な自立した生活が維持できるよう支援する。また、入居者、家族、地域とのつながりを重視し、信頼関係の構築に努める。

#### □ 重点項目

- サービスの質の向上  
入居者からの要望や意見を吸い上げ、改善に努めサービスの質の向上に繋げる。
- 余暇活動の充実による生活の質の向上  
入居者の要望を基にした行事や地域行事等へ積極的に参加し、余暇活動の充実を図り、楽しみを持ち、元気な生活作りを支援する。
- 職員教育  
勉強会や施設内研修、外部研修への積極的な参加及び伝達により幅広い知識の向上、資質向上に努める。
- 働きがいのある職場作り  
悩みや課題等を相談できる環境作りを行い、超過勤務時間の軽減（月平均5時間未満）、有給休暇や連続休暇等の取得により、モチベーションアップにつなげ働きやすい職場作りを目指す。
- 危機管理  
感染症、防災対策についての知識を研修や勉強会で深める。また、BCP（業務継続計画）の継続的な見直しを行い感染症や災害が発生した場合でも業務を維持、継続出来るような体制を構築する。

### デイサービス！ひな祭り！

今年の3月3日は、「ひな祭り」を実施しました。  
ひな祭りケーキやゼリーを振る舞うという企画で、皆さん、大喜びでした。きれいな3色のケーキとゼリーをご用意させて頂き、紅茶と召し上がられました。「今日は、特別やなあ。」「久しぶりにケーキ、食べたわ。」と笑顔一杯でした。ケーキを召し上がって頂きながら、大スクリーンでひな祭りの映像をご覧頂きました。また、ご希望の方には、玄関に飾られているひな壇と一緒に撮影会を行いました。「きれいやなあ」と感激されていました。



3月25日(金)ケアハウスではおやつ作りを行いました。プリンにホイップクリームをのせて、みかんや桃の缶詰を添えて召し上がって頂きました。皆さん「美味しかった。また作ってほしい。」「見た目もきれいで美味しそうだし嬉しい気分なる。」と大満足楽しいひとときを過ごされていました。



本誌に掲載されております写真等につきましては、個人情報保護法に基づき、掲載についてはご利用者等の承諾を得ております。

社会福祉法人京都悠仁福祉会

加茂の里

TEL 0774-76-7607 FAX 0774-76-7802

武田病院グループホームページアドレス : <http://www.takedahp.or.jp> (本紙もご覧頂けます)